

〈ミッション〉
自 立
追 究
共 生



未来創造

松江市立義務教育学校
玉湯学園 だより
令和7年8月28日
文責 田中 修

今年度のキーフレーズ

～自ら「気づき・考え・実行する」玉湯学園生のプライドをもって Let's GO～

ホームページもぜひご覧ください！



二次元コードをご利用いただくか、
「玉湯学園ホームページ」で検索ください。

※「つれづれ日記 2025」の写真については、活動の様子が分かる範囲にし、明度や彩度を低くしております。お気づきのことがありましたら、ご一報ください。

戦後80年の夏を迎えて

今年は、終戦を迎えてから80年目という節目でもあり、例年以上に戦争と平和について考える機会がたくさんあった夏でした。

7月27日に玉湯公民館で実施された歴史学習会「語り継ぎたい島根・松江・玉湯の戦争」では、6月に玉湯学園でお話をしてくださった大本さんと伊藤さんの講演を聴きました。

8月6日～8日には、青少年赤十字の宿泊研修がありました。母体となる組織、赤十字社の目的「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」は、第1回ノーベル平和賞を受賞したアンリー・デュナンが提唱したものです。くしくも8月6日は原爆が投下された日で、広島では平和祈念式典が行われていました。研修会の開講式では、平和への思いと願いを込めてあいさつをしました。

お盆には、広島護国神社を訪ねました。鳥居や台座の石に刻まれた原爆の傷跡を目の当たりにし、平和で安全安心な世界に向けての思いを一層深め、手を合わせました。

また、戦争と平和を考える本を何冊か読む時間もありました。中でも、元国連事務次長の明石康氏の言葉「『祈るだけの平和』から『創る平和』へ」、が心に残りました。「平和になってほしい」という他力本願でなく、平和な世界を創るために「自分には何ができるのか」、まさに「気づき・考え・実行する」主体的態度が必要であると再認識しました。

本日(8月28日)は、2学期始業式

年々気温が上昇し、今年の夏も猛暑、酷暑です。また、雨天の日が少ない一方で、降るときには一気に降り、暑さも降雨も災害級という言葉を何度も耳にしました。

本日の始業式は、リモートで実施しました。熱中症対策として、全校児童生徒約800名を体育館に集めることは回避し、各教室で始業式での話を聴いてもらいました。

始業式では、次のような話をしました。

①1学期終業式の約束どおり、笑顔で登校してくれてありがとう、②平和な世界に感謝しよう、③自分の力を伸ばしていこう。

2学期は、みんなの力をグンと伸ばす学習と行事が詰まっています。体育祭と文化祭は、全校が取り組む大きな学校行事です。修学旅行、宿泊研修、松江研修、町たんけん、あきランドなど、各学年で取り組む行事も挙げればきりがありません。

一つ一つの行事を節目に、日々の授業や学習を積み重ねて、学力と人間力を育てていきたいです。



温泉まつりで、まがたま太鼓を披露

学園の活動 あれこれ☆彡

夏休み中も、学園の児童生徒は様々なところで大活躍しました。新聞やテレビで報道されたものもあります。

また、クラブやスポーツ少年団などの団体、個人での習い事などでも、県大会や中国大会、全国規模の大会に出場したり、チャレンジしたりしたようです。

ここでは、学校として関わったものを、いくつか紹介します。

部活動での活躍！！

～ 剣道・卓球・水泳・吹奏楽 ～

★県総体には、剣道、卓球、水泳でそれぞれ出場しました。

※敬称略、() は学年、対戦相手は校名のみ

【剣道】

男子団体 1回戦 1 - 4 大田二中

男子個人：小笹(9)

1回戦 1 - 0 木次中

2回戦 0 - 2 出雲三中

【卓球】

女子団体 1回戦 3 - 1 金城中

2回戦 0 - 3 益田中

女子シングルス：日下(9)

1回戦 1 - 3 西郷中

女子ダブルス：長崎(9)・森脇(9)組

1回戦 3 - 1 平田中

2回戦 0 - 3 益田中

女子ダブルス：石川(8)・梶(8)組

1回戦 3 - 0 斐川西中

2回戦 0 - 3 益田中



ブロック大会でのシーン。
県大会の写真はHPで!!



県大会2日目の個人戦。
初日団体戦は、HPで!!

【水泳競技(女子)】岸本(8)

200m平泳ぎ第4位 <2'56"21>

100m平泳ぎ第4位 <1'25"44>

【水泳競技(男子)】筈居(7)

400m個人メドレー第2位 <4'47"42>

200m個人メドレー第2位 <2'17"90>

↓

この結果、8月9日・10日に島根県立プールで行われた中国中学校選手権大会に出場しました。

400m個人メドレー第2位 <4'47"74>

200m個人メドレー第5位 <2'18"09>



一斉に揃ったスタート(県水泳にて)

★全日本吹奏楽コンクール島根県大会

【吹奏楽】中学生Aの部 銅賞

8月9日(土)に出雲市民会館にて開催されました。直前にあった所用の時間が押し、急いで向かいましたがあと一歩で会場に入ることができませんでした。退場をしてくる生徒の充実感あふれる笑顔と、保護者の方の感想から、すばらしいステージだったことが伝わってきました。

購入した速報版のCDを聴きながら帰途につきました。みんなの成長が感じられる、すてきな演奏でした。



吹奏楽コンクール県大会会場にて

メンバーシップトレーニングセンター ～ 青少年赤十字の加盟校として～

先に少し触れましたが、8月6日～8日の3日間、三瓶青少年交流の家において、青少年赤十字主催の研修会（通称：トレセン）が行われました。本学園からは、前・後期の児童生徒合わせて8名と2名の教員スタッフが参加しました。

小・中・高のメンバーが、他校の生徒と2泊3日を共に過ごし、技術研修やフィールドワークなどのプログラムを通して、リーダーシップを育むとともに、友情を深めるとても良い研修になりました。



開講式に続いてのアイスブレイク



全体活動後の各グループで

さすが！！ プロフェッショナル ～ 女子バスケットボール部～

8月1日（金）には、B1 島根スサノオマジックの北川選手が来校し、女子バスケットボール部の指導をしてくださいました。

部員のみんなは、実際のプレーを通して具体的な助言をいただいたり、技術や練習内容について質問コーナーで直接答えていただいたりしました。

本当にありがたい、貴重な機会でした。ぜひ今後の活動を通して、関わってくださった皆さんへの感謝の気持ちを表してほしいと思います。



北川選手を囲んで質疑応答

松江テルサで算数授業

～ 夏期算数授業研修(6年生)～

前号でも紹介しましたが、7月25日（金）に松江テルサで教員対象の夏期算数授業研修会が行われました。

県内外から350名の先生方が集まる中、玉湯学園の6年生（希望者）25名がステージに上がり、筑波大学附属小学校の盛山先生による授業を受けました。教科書にない難しい課題でしたが、一生けん命に問題を解いたり、考えを発表したりしました。とても貴重な体験ができたと思いますし、先生方にも勉強になった非常に内容の濃い授業でした。



スクリーンにも授業シーンが映されました

本学園からも、たくさんの教員が参加していました。

この夏休みは、教職員もそれぞれに研修や勉強会、体験活動に励んでいました。

本学園独自の研修会だけでも、ICT、道徳、救急法、スクールカウンセラーによる生徒指導などを企画して勉強しました。それ以外にも自主的に県内外に出かけて、人権教育、道徳教育、特別支援教育、そして各教科の学習にと、精力的に学んでいました。頭が下がります。

ありがとうございました

～環境整備作業(PTA 活動)～

2学期を間近に控えた8月24日(日)の朝、PTA環境部主催の環境整備作業が実施されました。活動には、7年生の生徒と保護者の皆さまにご協力いただきました。

児童生徒や保護者の在籍数が増加する中、人数を絞って効率的・効果的に作業が進むように、また、暑熱環境を考慮して短時間で有益な活動になるようにと、環境部で計画をしていただきました。

お陰さまで、除草や窓ふき、児童生徒玄関の掃除など、予定していた作業が完了しました。ワックスがけした教室もあり、気持ちよく新学期を迎える環境が整備されました。

関係者の皆さまには、公私ともにご多用の中、時間を割いていただきありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



早朝からありがとうございました



始業式前からがんばる9年生

お詫びとお願い

体育祭日程を、年度当初の計画から急きよ変更しました。

熱中症対策のためとはいえ、直前の決定により、多くの皆様にご迷惑をおかけしています。学園内でも夏休み中に何度も会議を重ね、詳細を詰めております。

改めてお詫びするとともに、ご理解、ご協力のほど、何卒よろしく申し上げます。

「気づき・考え・実行する」力を

～少年の主張大会(後期課程)～

今年度も、中学校(および義務教育学校後期課程)では少年の主張大会が実施されます。

島根県大会の趣旨には、「明日を担う中学生が日常生活を通じ、日頃考えたり感じたりしたことを広く発表することにより、中学生の自立心を育てる機会とする」とあります。令和7年度の少年の主張大会は第54回少年弁論大会でもあり、半世紀を超える歴史と伝統があります。

本学園でも、1学期末に後期課程の生徒全員が少年の主張に取り組みます。そして、学級や学年大会などの予選を経た代表者が、7月18日(木)の校内大会に挑みました。

開会にあたり、少年の主張では「受信力」と「発信力」が大切であることと同時に「思考力・判断力」が不可欠であることを、聴衆の皆さんを含めた全員に話しました。他者の意見をしっかり受け止め(気づき)、自身の考えと比較しながらその考えを深いものにし(考え)、それをよりよい形で発信する(実行する)ことが重要となります。

正解が1つに定まらない時代だからこそ、最適解や納得解を得られるように、多様な意見交流が必要になってきます。

本学園の校内大会は非常に内容が濃く、審査会でも議論が白熱しました。結果は次のようになりました。【「演題」・発表者(学年)】

最優秀賞: 学校代表として、松江市大会に出場
「あたりまえ」松浦さん(9)

優秀賞: 以下発表順

「才能と努力」堀江さん(7)

「『正しさ』とは」戸谷さん(9)

優良賞: 以下発表順

「『ウソ』は悪いこと?」松山さん(8)

「今日やったことは必ず明日に返ってくる」

村田さん(7)

「勇気ある行動」吉岡さん(8)

「夢」大蘆さん(7)

みなさん、ありがとうございました。